

4 10 13  
14 15

# 資源循環が地球を救う

株式会社カネダ

産業廃棄物の収集・処理を請け負う会社(株)カネダ。適正処理と再分別を徹底し、ごみ排出事業者への情報開示(リサイクル)方法を提案するなど地域の資源を循環する大きな役割を担っている。県SDGsパートナー企業にも登録されている。

「同社の金田勝俊社長は「『ごみ』『産業廃棄物』という良くないイメージが先行してしまうが、皆さんの生活のために無くてはならない会社。そこを正しく伝えて理解してもらいたい」と熱意を込める。そのため「カナダマン」という親



環境のことなら  
カナダマンに  
お任せください!

しみやすいキャラクターも誕生。同キャラが登場するコミックをホームページ上に掲載し資源循環について分かりやすく紹介している。

## 子どもたちへ環境授業

「環境啓発には未来を担う子ども達への教育が大切」と話すのは金田たまり専務。県の環境出前授業の一環で、県内の小学校に出向き環境啓発授業を行っている。教材は自身で開発し特許を取得したオリジナルの教材「環境啓発すごろく」。

マスには「白熱電球をLED電球にかえたよ、節電ね!」などと書かれ楽しく自然と環境にやさしい行動を選択できるように創作されている。サイコロは紙に切り込みを入れて折るだけで作ることで、子どもにも環境にも優しい工夫がされている。

特許を取得したのは他にも、はさみもりも使わず作れる卓力レンダー「新聞や雑誌を資源ごみを捨てる際に役立つ『袋(エコーバック)』は自信作」ともたまりもゼロ口にごたつた。組み立てや梱包作業は適正価格で地域の福祉施設に依頼している。そのほか、市主催の環境フェアで市民に向けて環境啓発を行うとともに、イベントでの売上を環境基金へ全額寄付。ま

## 株式会社カネダ

☎0466-25-7785

〒 藤沢市蒲沼神明3-9-3  
http://eco-kaneda.com/



SDGsってなあに? 貧困や男女格差、気候変動といったあらゆる問題を地球で暮らすみんなで解決しようとする世界共通の目標。レジ袋をもらわず、エコバッグを使うなどの身近な取り組みもSDGsの促進につながります。



※それぞれの図解ページの上にあるマークは、SDGsの目標のうち、各自の取り組みに該当する項目を一部掲載したものです。

# 「日々の生活にSDGsを」

小泉大臣インタビュー



本紙のインタビューに応じる小泉大臣

「日本の自治体における環境への取り組みは世界の中でも注目を浴びていて、横浜市は約60校の

が本場のライフスタイルとして落とし込めていない。一方、教育現場では学習指導要領が改定さ

チックが増えかねない。そのような現実を理解いただき、脱プラ・脱炭素を生活の中に取り入れて